

研 究 発 表 会 開 催 通 知

(昭和 61 年 3 月 15 日～4 月 30 日)

研 究 会	日	時	会 場	備 考
マイコンコンピュータ	3 月 17 日 (月)	13 : 00～17 : 30	北 大	下記参照
設 計 自 動 化	3 月 18 日 (火)	13 : 30～17 : 00	機械振興会館	前号参照
数 値 解 析	3 月 20 日 (木)	13 : 30～17 : 00	同 上	同 上
自 然 言 語 処 理	3 月 28 日 (金)	10 : 00～17 : 10	東 工 大	同 上

* 4 月は研究会開催予定がありません。

◆第 39 回 マイコンコンピュータ研究会

(発表件数 : 4 件)

(主査 : 安田寿明, 幹事 : 斉藤 剛, 若鳥陸夫, 脇 英世)

日 時 昭和 61 年 3 月 17 日 (月) 午後 1 時～5 時半

会 場 北海道大学工学部 106 教室

〔札幌市北区北 13 条西 8 丁目, 国鉄 : 札幌駅下車, 徒歩 10 分 または, 地下鉄 : 北 12 条駅下車 Tel. 011 (716) 2111〕

議 題 (1) 自走式ロボット内部のマイコンコンピュータネットワーク

恩田邦夫 (北大・工)

〔概要〕 車輪式自走ロボット内でセンサ, アクチュエータ制御のための多数個組み込まれるマイコンコンピュータ間のネットワーク形成について述べる。

(2) 光学式二次元分布圧力センサシステムの開発

川嶋稔夫, 青木由直 (北大・工)

〔概要〕 ロボットへの応用を目的とした二次元分布型圧力センサについて述べる。圧力分布を圧力-光減衰変換シートで射影像として検出し, これをマイコンコンピュータ処理によって二次元分布に復元した。

(3) 書道のための毛筆システムの試作

時 崇明, 青木由直, 恩田邦夫 (北大・工)

〔概要〕 多種類の字体に対する字画の特徴抽出方式と, これによって生成された基本ストロークのデータベース化について述べ, その応用としての毛筆書き「書道システム」実験例を報告する。

(4) マイコンコンピュータ用液晶ディスプレイを用いたホログラム表示

石川貴之, 青木由直 (北大・工)

〔概要〕 マイコンコンピュータと液晶ドットマトリクスディスプレイを用いた計算機ホログラムの表示と, その再生について報告する。

◆ソフトウェア研究会

第 48 回研究会を 6 月 25 日 (水) 於機械振興会館で開催いたします。発表ご希望の方は 3 月末日までに事務局研究会係までお申込み下さい。

◆ソフトウェア基礎論研究会

「プログラムの自動合成と変換」特集の研究会を 7 月 3 日 (木)～4 日 (金) に開催する予定です。(電子通信学会, ソフトウェア科学会と共催) 奮ってご発表・ご参加ください。発表ご希望の方は 4 月末日までに学会事務局へお申込みください。

◆ 研究発表会開催予定（４月～９月）

（研究会名）

（開催日・会場）

自然言語処理	5月23日(金) 東京 9月26日(金) 東工大	7月25日(金) 電総研
データベース・システム	5月19日(月) 機・6-65 9月19日(金) 東京	7月21日(月) 九大
知識工学と人工知能	5月9日(金) 機・B3-研 1 9月18日(木) 機・B3-研 1	7月11日(金) 広島大
記号処理	6月 東北大	9月 津田塾大
ソフトウェア工学	5月28日(水) 機・6-67 7月30日(水) 機・B3-研 1	6月25日(水) 機・6-67 9月24日(水) 阪大
マイクロコンピュータ	6月27日(金) 機・B3-9	9月27日(土) 東京電機大
計算機アーキテクチャ	7月14日(月) 機・B3-2	
オペレーティング・システム	6月6日(金) 機・6-65	9月12日(金) 機・6-67
コンピュータビジョン	5月15日(木) 名古屋大 9月18日(木) 東大・生研	7月17日(木) 東北大
設計自動化	5月20日(火) 機・6-67	7月15日(火) 機・6-67
マルチメディア通信と分散処理	5月15日(木) 大阪 9月中旬 東京	7月25日(金) 東京
日本語文書処理	5月14日(水) 機・6-65 9月17日(水) 東京	7月9日(水) 機・B3-2
グラフィクスとCAD	5月9日(金) 機・6-66	7月11日(金) 製科研
数値解析	7月4日(金) 機・B3 2	
ソフトウェア基礎論	7月3日(木)・4日(金) 機・B3-研 2 9月30日(火) 広島大	
情報システム	5月20日(火) 慶大 9月16日(火) 機・6-65	7月15日(火) 慶大
プログラミング言語	5月23日(金) 機・6-67	7月18日(金) 津田塾大
情報学基礎	6月2日(月) 機・B3-2	8月4日(月) 機・B3-2

注) 機－機械振興会館
 ＊ 各研究会に発表申込希望者は開催月の３カ月前に研究会発表申込書(本欄末添付)を事務局研究会係までご送付下さい。

昭和 61 年度研究会のお知らせ

昭和 61 年度は、下記の通り 18 研究会(新設 1)で行います。(※の情報学基礎が新設されました。)

- 年間を通して参加の場合は登録をお願いします。(但し本学会員に限る。)
- 登録されていない会員は研究会当日資料代 円1,000 をいただきます。(但し、部数に制限があります。)

研 究 会 名	主 査 幹 事	取り扱う研究分野の例
1 自然言語処理	◦吉田 将 田中穂積 日高 達 野村浩郷	言語理論, 言語行動, 言語資料・統計, 漢字処理, 専門用語・辞書, 構文解析, 意味・文脈処理, 知識処理, 機械翻訳, 情報検索, 自然言語処理ソフトウェア
2 データベース・システム	◦上林弥彦 石井義興 三浦孝夫 鈴木健司	基礎理論, モデル, 設計, 言語, 質問処理, 並行処理, 分散 DB, DB マシン, アーキテクチャ, マルチメディア DB, オフィスシステム, CAD DB, 知能 DB
3 知識工学と人工知能	◦堂下修司 西田豊明 米澤明憲	知識の表現と獲得, 知識ベース, エキスパートシステム, 推論, 学習, 定理証明, 発見的手法, 自動プログラム合成, パターン理解, 人工知能用言語, 知能ロボット
4 記号処理	◦和田英一 井田昌之 元吉文男 小川貴英	記号処理言語と処理系, 記号処理の理論と応用(数式処理, 言語処理, ゲーム, 知識ベース, 論理プログラミング, ラムダ算術, 関数型言語など), 記号処理アーキテクチャ, 記号処理の技法
5 ソフトウェア工学	◦花田収悦 落永浩一郎 春原 猛 紫合 治	設計技法, 形式的仕様・プログラム図式, プログラミング言語, 試験・検証, ツール・開発支援環境, 再利用・プログラム合成, エキスパートシステム, 管理, メトリクス, 信頼性, 標準化, 人間要因・教育
6 マイクロコンピュータ	◦安田寿明 岡田義邦 若島陸夫 齊藤 剛	1. マイクロコンピュータ, パーソナルコンピュータ関連分野の研究 2. ソフトウェア(OS, 言語, 応用パッケージの高機能化) 3. ハードウェア(論理方式, システム形式, 素子及び周辺素子) 4. 標準化(入出力方式, ファイル方式, 通信方式)
7 計算機アーキテクチャ	◦田中英彦 喜連川優 長谷川隆三	計算機システムの設計・構成・制御技術, ファームウェア技術, VLSI 向きアーキテクチャ, 応用指向・問題向きアーキテクチャ, 各種並列アーキテクチャ
8 オペレーティング・システム	◦亀田壽夫 紀 一誠 野口健一郎	OS (大型/小型/分散)の構造論, 設計思想, 記述方式, 実現, 人間工学的評価, プログラミング環境, 並列処理, 計算機システムの性能解析, モデル化技法, 信頼性
9 コンピュータビジョン	◦白井長明 山隆司 吉田真澄	画像処理一般, 物体認識, ロボットビジョン, 動画画像解析, 画像データベース, 画像処理用ハードウェア, 視覚系のモデル
10 設計自動化	◦樹下隆行 三安藤 宏 吉田憲司 池本康博	LSI/VLSI・プリント板・論理装置等の論理設計・実装設計・検査設計の自動化, ハードウェア記述言語, 設計データベース, 知識ベース CAD, EWS, 階層化設計手法
11 マルチメディア通信と分散処理	◦野口正一 浦野義頼 白鳥則郎 河岡 司	ニューメディア, マルチメディアを用いた広域分散, ローカル・ネットワーク, 機能分散, 負荷分散などの分散処理システムの設計と運用技術, 計算機網技術とその応用に関する理論と実際
12 日本語文書処理	◦山田尚勇 坂下善彦 首藤正道	文章の分野別特徴, 人間工学的基礎, 各種入力法の研究と比較, オペレータ教育法, 文書処理方式と制御言語, オフィス・オートメーションとのかわり
13 グラフィクスと CAD	◦川合 慧 正徳 守屋慎次 内田光太郎	グラフィクス ソフトウェア, グラフィクス ハードウェア, グラフィクス言語, 標準化, 図形処理・表示アルゴリズム, 形状処理, 表示技術, アニメーション, ユーザインタフェース, 図形データベース, 図面の認識と理解, ワークステーション, CAD/CAM, AI の CAD への応用
14 数値解析	◦森 正武 唐木幸比古 福井義成 野寺 隆	数値計算とその解析, 特に超大型計算や超高精度計算, 数式処理との結合, 数学ソフトウェアの移植, 計算機や言語への提案, 計算の効率化手法
15 ソフトウェア基礎論	◦広瀬 健 佐々政孝 新田克己 所真理雄	1. ソフトウェアの理論的基礎(プログラムの形式的仕様・意味論・検証論, システム・プログラムの基礎理論, 並列・分散処理の理論) 2. プログラミングの基礎(プログラムの変換・合成, 関数型・論理型・オブジェクト指向プログラミングの基礎・方法論, 項書き換えシステム, 新アーキテクチャのソフトウェア基礎)
16 情報システム	◦浦 昭二 榎木公一 山本毅雄 橋本茂司	情報システム(OIS, MIS, 情報サービスなど)の分析・設計・構築・利用, 情報ニーズ, 情報・データの管理などの理論と実際, 情報システムと人間・組織・社会
17 プログラミング言語	◦島内剛一 石畑 清 安村通見 齊藤信男	1. プログラミング言語の基礎理論(構文論, 意味論, メタ言語) 2. プログラミング概念の形式的記述(データ構造論, 並行処理論, プログラムの検証, 言語設計) 3. 言語処理系の理論と実際(構文解析, コード生成, 最適化, コンパイラコンパイラ, 解釈系, 言語向きマシン), 4. プログラミング支援環境(テキスト編集系, 構文向き編集系, デバッガ, ユーザインタフェース, 文書化)
18 ※情報学基礎	◦藤原 譲 有川節夫 中村史郎 富永英義	1. データ・知識の記述, 表現, 識別, 分類, 評価など 2. データ・知識の媒体, 変換, 標準化, 流通など 3. データ知識の基礎理論

昭和 61 年度研究会（新規）登録申込書

登録上の注意

- 1) 本申込書は新規の方のみご利用ください。（60 年度に登録された方は使用できません。）
- 2) 60 年度にいずれかの研究会に登録された方には、別途各登録者宛に「昭和 61 年度研究会の登録について（お願い）」を送付いたします（3 月上旬）。
- 3) 登録は本学会員に限ります。各研究会登録費は年間下表のとおりです。登録者には、研究会開催のつど資料を後日郵送します。
- 4) 登録は、登録費の領収をもって正式の受け付けとします。おそくとも 5 月末日までにご登録下さい。6 月以降になると既刊の資料は確保しかねますので、ご承知おき下さい。

(ご希望の研究会の申込み欄に○印をつけること)

申込み	研 究 会 名	登録費	申込み	研 究 会 名	登録費
	自然言語処理	3,000円		設計自動化	3,000円
	データベース・システム	3,000円		マルチメディア通信と分散処理	3,000円
	知識工学と人工知能	2,500円		日本語文書処理	3,000円
	記号処理	2,500円		グラフィックスと CAD	2,500円
	ソフトウェア工学	3,000円		数値解析	2,500円
	マイクロコンピュータ	2,500円		ソフトウェア基礎論	2,500円
	計算機アーキテクチャ	2,500円		情報システム	2,500円
	オペレーティング・システム	2,500円		プログラミング言語	2,500円
	コンピュータビジョン	3,500円		情報学基礎	2,500円

(フリガナ)

○ 申込み会員氏名 _____ [正・学・賛] 会員 No. _____

○ 勤務先名・所属 _____ Tel. _____

所在地 (〒 _____)

○ 資料送付先 (上記勤務先以外の場合のみ記入)

(〒 _____)

○ 登録費 (年間) 2,500円 × _____ 件, 3,000円 × _____ 件, 3,500円 × _____ 件

合 計 _____ 円也

○ 次のいずれかの方法でご送金下さい。いずれの場合も必ず登録申込書が必要です。

なお、会社名などで送金の場合は、別途個人名を事務局までお知らせ下さい。

☐ 現金書留：登録費と登録申込書を同封のこと。☐ 現金持参☐ 郵便払込：払込用紙に希望研究会名を記入のこと。☐ 口座番号「東京 5-83484」☐ 銀行振込：第一勧銀・虎ノ門支店 (普) No. 1013945

○ 払込み日 昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

○ 情報処理学会の請求書 (通), 見積書 (通), 納品書 (通) が必要です。

(社) 情報処理学会 研究会係 〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 Tel. 03(431)2808

情報学基礎研究会発足のお知らせ

情報化の進展と各種のニューメディアの出現によって処理すべき情報は多岐にわたり、量的にも膨大なものとなってきた。急激に蓄積のすすめられているデータベースと、各方面で実用化が急がれている知識ベースの整備には多くの課題が残されている。

とくに研究開発や意志決定に必要なデータや知識は、入力することのみでも困難なことが多い。

これらは現在の計算機構との関連でデータや知識の本質的問題点であり、実務的面からのみでなく技術的、理論的にも最近注目を浴びている重要な課題である。

本学会の各種の研究会とくに知識工学、言語、データベース、コンピュータグラフィクス、アーキテクチャなどの研究会とも共通な基礎的部分を有する研究会であるが、処理以前の情報すなわちデータや知識が計算機可読化されるまでの面に重点をおいている。多数の会員の参加と積極的な研究会活動を期待するものである。

◆目 標

1. 情報学基礎の課題を明らかにし、理論の確立と応用技術の開発に寄与すること。
2. 情報学基礎に関する研究交流を行うこと。

◆主要な研究分野

1. データ・知識の記述項目、表現方法、識別・分類、評価など。
2. データ・知識の媒体、変換、標準化、流通など。
3. データ・知識の管理可能性、記述可能性、モデリングなどの基礎理論。

提 案 者 (五十音順)

有川節夫 (九 大)	有澤 博 (横浜国大)	石塚英弘 (情 報 大)	猪瀬 博 (東 大)
岩田修一 (東 大)	大保信夫 (筑 波 大)	小沢 宏 (東 大)	国井利泰 (東 大)
玄地 宏 (東 芝)	小林久志 (I B M)	坂井利之 (京 大)	菅原秀明 (理 研)
田中穂積 (東 工 大)	田中康仁 (姫路短大)	田村貴代子 (国会図)	時実象一 (化 情 協)
富永英義 (早 大)	中井 浩 (常 盤 大)	長野雄治 (J A P I O)	根岸正光 (東 大)
橋本昭洋 (N T T)	長谷川昇 (J I C S T)	藤崎博也 (東 大)	藤原 譲 (筑 波 大)
増永良文 (情 報 大)	松本大四 (三菱電機)	真名垣昌夫 (日 電)	尹 博道 (富 士 通)
八重樫純樹 (歴 博)	横井 豊 (経 企 庁)	吉田郁三 (日 立)	

新年度にあたって（お願い）

——会費・購読費の納入，新会員勧誘など——

新年度にあたって，会員の皆様につきの点につきご確認いただき，あわせてご協力のほどお願いいたします。

（１） 61 年度の会費および論文誌・欧文誌購読費の納入

2 月上旬に会員個々に納付書（郵便振替用紙）を送付いたしました。未納の方は早急にご納入ください。

なお，本年 3 月に大学学部卒業予定の学生会員には，61 年度会費は正会員（7,200 円）として請求してあります。大学院修士課程に進まれる方は，学生会員として継続できますので，納付依頼書の記事を参照のうえ，会員番号を付し，大学院名・研究科名・専攻名，修了予定年月および学会誌の送本先を変更する場合はその宛先等を必ずご連絡ください。

（２） 滞納会費の納入

60 年度会費未納者には，これまで再三にわたり請求いたしておりますが，このたびの請求によっても納付いただけない場合には，本学会から除名することがありますので，ご承知ください。

（３） 学会誌の送本先変更

勤務先，自宅住所に異動のある方は，必ず所定の「変更連絡届」用紙にて会員番号を付し，早速にご連絡ください。

（４） 退 会

書面（様式任意，はがき可）にてお申出ください。なお，60 年度会費が未納の場合には，昨年 4 月以降送本した学会誌を会費月割りで精算のうえ請求いたします。

（５） 論文誌・欧文誌の新規購読

論文誌（月刊）および欧文誌（季刊）は有料頒布です。購読を希望する会員は 1 月号に添付の申込書を使用して，お申し込みください。

（６） 新入会員の勧誘

3 月，4 月は新入会のチャンスです。入会申込書を本号末尾に綴込みましたので，入会をご勧誘ください。

昭和 61 年度各種行事の予告について

4 月以降の主な行事予定は以下のとおりです。詳細は順次本欄にてお知らせします。

なお、期日・会場が変更される場合もありますので、ご留意ください。

行 事	期 日	会 場
第 27 回通常総会	5・20 (火)	機械振興会館ホール
第 33 回全国大会	10・1 (水)～3 (金)	広島工業大学
第 34 回全国大会	62・3 中旬	(東京)
~~~~~		
(講演会)		
計算機科学の分野における技術動向 (シンポジウム)	4・4 (金)	機械振興会館ホール
プロトタイピングと要求定義	4・16 (水)～17 (木)	"
1986 年夏のシンポジウム	7・21 (月)～23 (水)	(箱根・強羅)
アドバンスト・データベース・システム	8・29 (金)～30 (土)	機械振興会館ホール
第 19 回情報科学若手の会	(8 月)	(筑波)
グラフィクスと CAD	11・17 (月)～19 (水)	機械振興会館ホール
コンピュータ・システム	11・20 (木)～21 (金)	"
インタオペラブル情報システム (仮題)	(11 月中旬)	"
情報システム	12・5 (金)～6 (土)	図書館情報大学
第 28 回プログラミング・シンポジウム	62・1・7 (水)～9 (金)	箱根ホテル小涌園
1987 情報学	1・13 (火)～14 (水)	日本学術会議講堂
(講習会)		
コンピュータを用いた画像生成・表示の 基礎技法	9・16 (火)	機械振興会館ホール
ソフトウェア工学の現状と動向	12・11 (木)～12 (金)	"
~~~~~		
(共 催)		
マイクロコンピュータ国際応用シンポジ ウム	5・25 (日)	(未定)
ISCA 86 国際会議	6・2 (月)～5 (木)	サンシャイン プリンスホテル
1986 年中等教育とマイクロコンピュー タ国際会議	8・18 (月)～22 (金)	都立産業貿易センタ
第 12 回 VLDB 国際会議	8・25 (月)～28 (木)	京都国際会議場
昭和 61 年電気・情報関連学会連合大会	9・10 (水)～12 (金)	中央大学理工学部
第 17 回画像工学コンファレンス	(12 月上旬)	(東京)
Workshop on CAD Engines	62・3・16(月)～17(火)	機械振興会館ホール

学術奨励賞の受賞候補者の推薦について

全国大会で優秀な論文を発表した会員の中から、大学学部卒業後10年未満（またはこれと同等）の若手の科学者・技術者約10名を選び、学術奨励賞を贈呈し表彰いたします。

つきましては、去る3月11日～13日に学習院大学で開催された第32回全国大会での登壇発表者の中から、下記により受賞候補者1名をご推薦くださいますようお願いいたします。

なお、受賞者の選定は学術奨励賞委員会（委員長 松尾副会長）で行い、その発表と表彰は来る10月に開催の第33回全国大会（広島工業大学）時に行われる予定です。

記

選定範囲および推薦数

第32回全国大会で発表された論文のうち、優秀な論文の登壇発表者1名。

推薦資格 本学会正会員に限る。

推薦方法 官製はがきに、推薦する論文の①講演番号、②題目、③登壇発表者名、④所属、⑤出身校（学部）卒年、⑥推薦理由および推薦者の氏名、所属、住所をもれなくご記入のうえ、本会学術奨励賞係あてお送りください。

推薦締切 昭和61年4月15日（当日消印有効）

表 彰 規 程（抜 粋）

第4章 学 術 奨 励 賞

第15条 学術奨励賞は、情報処理に関する学問、技術の奨励のため、有為と認められる新進の科学者または技術者に贈呈する。

第16条 学術奨励賞を受ける者は、全国大会において優秀な論文を発表した者で、つぎの各号に該当する者から選定する。

- イ 選定の時期において本会会員であること（選定の時期とは、第1回の委員会開催時とする）。
- ロ 講演の時期において大学の学部卒業後10年未満の者またはこれと同等と認められる者であること。
- ハ 大会参加申込の際講演者として登録かつ講演を行った者であること。
- ニ 本奨励賞を受けたことのないものであること。

第17条 第16条の選定は、全国大会終了後速やかに行う。

第18条 学術奨励賞は、毎回約10名ずつを選定し、贈呈する。

第19条 学術奨励賞は、賞状、賞牌および賞金とする。

- 2. 賞金は、1名につき20,000円とする。

情報処理学会第 33 回 全国大会論文募集要領

- 開催期日** 昭和 61 年 10 月 1 日(水)～3 日(金)
- 会 場** 広島工業大学 (広島市佐伯区五日市町)
- 応募資格** 本学会個人会員 (正会員, 学生会員) に限ります。共同発表の場合には, 登壇発表者は会員でなければなりません。なお, 61 年度会費未納の会員は, 登壇発表ができません。また, 登壇発表者の入会手続が未了の場合には申込みを受け付けません。入会申込書は本号末尾に添付してあります。(電気, 電子通信, 照明, テレビジョン学会会員は全国大会の参加・発表は会員扱いとします。)

~~~~~論文該当分野~~~~~

1. 基 礎
 - a. 計算理論, b. アルゴリズム
 - c. プログラム理論, d. その他
2. アーキテクチャおよびハードウェア
 - a. 専用マシン, b. 並列処理, c. 演算装置, d. 記憶装置, e. 周辺端末装置
 - f. 性能評価, g. 信頼性, h. 保守技術
 - i. マイクロコンピュータ, j. スーパーコンピュータ, k. その他
3. オペレーティングシステム
4. プログラミング言語およびソフトウェア工学
 - a. プログラミング言語とその処理, b. ソフトウェア設計, c. プログラミング技法
 - d. 開発管理保守, e. プログラミングツール, f. 性能評価, g. 信頼性, h. その他
5. データベース
 - a. データベースマシン, b. データモデル
 - c. データマネジメント, d. 分散データベース, e. 性能評価, f. 情報検索
 - g. その他
6. ネットワークおよび分散処理
 - a. システム, b. アーキテクチャ
 - c. プロトコル, d. ローカルネットワーク
 - e. 広域ネットワーク, f. 性能評価
 - g. 通信用ソフトウェア, h. その他
7. パターン処理および人工知能
 - a. 文字認識, b. 画像処理, c. 自然言語理解, d. 音声, e. 人工知能, f. 知識工学, g. ロボット, h. その他
8. 自然言語処理
 - a. 文解析合成, b. テキスト処理・辞書
 - c. 機械翻訳, d. 入出力, e. その他
9. 数値計算
10. ニューメディア
11. オフィスシステム
12. 情報システム
 - a. 情報要求分析, b. 情報システム設計法
 - c. 運用システム, d. その他
13. 技術, 産業への応用
 - a. CAD/CAM, b. CAE, c. グラフィクス, d. シミュレーション, e. その他
14. 社会システムへの応用
15. その他

- 申 込 料** 不要です。ただし, 登壇発表される方は, 論文集原稿を提出する際に, 必ず講演参加費 (1 件につき 7,000 円) を納入してください。
- 申込方法** 添付の講演申込用紙 (1 件 1 枚) に必要事項を記入し, 宛先明記の原稿用紙送付用封筒 (大きき A 4 判…21cm×30cm のもの, 切手は不要) を同封のうえ, **61 年 5 月 16 日(金)**までに (必着), 下記申込先へお送りください。登壇発表は原則として 1 人 1 件とします。ただし, やむを得ず 2 件以上になる場合には, 講演参加費は 1 件ずつごとに 7,000 円ずつを申し上げます (ただし, 論文集は 1 冊です)。申込締切後の変更は一切受け付けません。
- 論文提出** 所定の原稿用紙を 6 月中旬に送付しますので, 昭和 61 年 8 月 11 日 (月) までにご提出ください。発表は日本語または英語で行うものとし, 論文は日本語または英語に限ります。ただし, 登壇発表者の入会手続が未了の場合には, 原稿用紙を送付しませんのでご注意ください。なお, 大会発表の全論文を JICST の JOIS に入力することとなっております。所定の用紙に標題, 発表者名とアブストラクト (150 字以内) を記述して, 論文と一緒に提出していただきます。
- 表 彰** 優秀な論文を登壇発表した新進の会員 (学部卒業後 10 年未満またはこれと同等の者) には, 学術奨励賞を贈呈し, 次期大会時に表彰いたします。
- 申 込 先** (社) 情報処理学会 第 33 回 全国大会係 Tel. 03(431) 2808

IFIP Congress 86 への団体割引旅行について

来る 9 月 1 日～5 日にアイルランドの首都ダブリンで開催される標記国際会議に際し、既報のとおり、IFIP 会長国として多数の参加が得られるように、日本交通公社を Agent として、低廉な団体旅行を企画いたしましたので、ご案内いたします。

記

- 期 日 1986 年 9 月 1 日(月)～5 日(金)
会 場 Congress: Trinity College, University of Dublin
Exhibition: Royal Dublin Society
参 加 費 ① 一般 (IR) £ 400 (6 月 13 日まで) (IR) £ 425 (6 月 14 日以降)
② 学生 (IR) £ 75 ③ 同伴者 (IR) £ 50

団体旅行(3 種)

- (1) 会議出席短期間 (8 月 30 日(土)～9 月 7 日(日) 9 日間)
東京ーダブリン(6 泊)ー東京 旅行代金 470,000 円
- (2) 会議出席と自由滞在(8 月 30 日(土)～9 月 13 日(土)15 日間)
東京ーダブリン(6 泊)ーロンドンー6 日間自由滞在一ロンドンー東京
旅行代金 470,000 円
- (3) 会議出席と業務視察 (8 月 30 日(土)～9 月 14 日(日), 16 日間)
コーディネータ: 京都大学数理解析研究所 高須 達教授
東京ーダブリン(6 泊)ーロンドン(1 泊)ーエジンバラ(2 泊)ーボン(2 泊)ーパリ
(2 泊)ー東京
業務視察先(予定)
●エジンバラ大学 ●ボン数理情報処理研究所 ●INRIA
旅行代金 790,000 円
- 注) (i) 会議登録は下記 JTB で代行いたします。
(ii) 上記団体旅行の日程に合わない場合、またはビジネス・クラスの航空
運賃ご利用の場合も下記 JTB にご相談下さい。

詳細募集要項は下記の JTB にお問い合わせ下さい。

(株)日本交通公社海外旅行虎の門支店国際会議センター IFIP 86 係

〒105 東京都港区西新橋 1-5-13 第 8 東洋海事ビル 4 F Tel. 03(504)1741

講演会の開催について

今春4月、IBMのPeled博士の来日を機に、下記により講演会を開きます。ご来聴ください
(非会員も聴講可です)。

記

日 時 昭和61年4月4日(金) 14:00~16:00
会 場 機械振興会館 大ホール(地下2階)
講演テーマ 「計算機科学の分野における技術動向、技術的挑戦と可能性について」
講 演 者 エイブラハム ペレッド博士 (Dr. Abraham Peled)
IBM 研究部門システム担当副社長 兼 T.J. ワトソン研究所コンピュータサイエ
ンス部ディレクタ
コーディネータ 鈴木 則久 (IBM ワトソン研究所)
参 加 費 無料(定員150名)
講演要旨

今後10年間に予測可能な計算機システムに関する技術の進歩につき検討する。例えば200~400万素子をもち、20 MIPSの処理能力をもったVLSIの開発等につき言及する。このような技術動向をふまえ、急速な技術進歩に対する計算機科学の研究に及ぼす影響につき述べ、その技術的挑戦とその研究の可能性につきIBMの研究所以て現在行われている研究を例にとって述べる。例えば、高性能ワークステーションとユーザインタフェース、並列処理システム、VLSI設計ツール、先進的ミニコンピュータのアーキテクチャとオペレーティング・システム等の例を示す。特に大規模に相互接続された複数システムの構成を決める際に必要なデータの共用、データ・アクセスの形態に対しましてますます重要性が増大しつつあることを強調して述べる。

「アドバンスト・データベース・システム」シンポジウム論文募集

標記シンポジウムの論文を募集中です。奮ってご応募ください。なお、詳細については前号本欄参照のこと。

日 時 昭和61年8月29日(金)、30日(土)
場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)
論文締切 昭和61年5月7日(水)
採用決定 5月末
最終論文締切 7月25日(金)

「プロトタイピングと要求定義」シンポジウム開催のお知らせ

標記シンポジウムに関して、多数の論文をご応募頂き誠に有難うございました。下記の要領でシンポジウムを開催致しますので、多数の方々のご参加をお願いいたします。

記

日 時 昭和 61 年 4 月 16 日(水), 17 日(木) 9:00~17:00
場 所 機械振興会館大ホール (地下 2 階)
参 加 費 会員 10,000 円 (非会員 15,000 円) 学生会員 5,000 円
(論文集のみ 3,000 円, 送料 300 円)
申込締切 昭和 61 年 4 月 1 日(火) (申込書は前号にあります)

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第 1 日 (4 月 16 日)

招待講演 (9:00~10:00)

- ライフサイクルモデルとプロトタイピングの両立性 阿草 清滋・大野 豊 (京 大)
——休 憩 (10 分) ——

セッション 1 (10:10~11:55)

座長 永田 守男 (慶 大)

- 知識工学手法によるソフトウェア・プロトタイピング
本位田真一・内平 直志・末田 直道 (東 芝)
- 要求モデルに基づいた要求定義支援手法 大西 淳・阿草 清滋・大野 豊 (京 大)
- プロトタイピング技法の形式化の試み——代数的プログラムの抽象実行を用いる方法——
岡田 康治・二木 厚吉 (電総研)

——昼 食 (50 分) ——

セッション 2 (12:45~14:30)

座長 紫合 治 (日 電)

- 並行/並列/分散処理ソフトウェア設計時のプロトタイピング手法
伊藤 潔・田村 恭久 (上智大)
- 要求記述モデル DRAMA に基づいた実行可能仕様記述方式 宮下 洋一 (IPA)
- JSD (Jackson System Development) 仕様の実行系の試作 加藤 潤三 (日本ユニバック)
——休 憩 (10 分) ——

セッション 3 (14:40~17:00)

座長 杉田 義明 (SRA)

- 理容店向け専用パッケージの要求定義実践例 生田目康子 (日本コンピュータ研究所)
- 大規模事務処理システムにおけるプロトタイピング 坂内 広蔵・寺野 隆雄 (電力中研)
- 第四世代言語 NATURAL を用いたプロトタイピング方式のシステム開発の事例
末舛 史郎・羽城 修・吉鋪 紀子 (ソフトウェア・エージー)
- 新電話サービス開発におけるプロトタイピング手法の一検討
新津 善弘・伊藤 弘 (NTT)

第 2 日 (4 月 17 日)

招待講演 (9:00~10:00)

- 要求定義とプロトタイピングの現状 玉井 哲雄 (三菱総研)
——休 憩 (10 分) ——

セッション 4 (10:10~11:55)

座長 杉藤 芳雄 (電総研)

- 日本語による仕様記述からのライブラリモジュール援用プログラムの半自動生成
西田富士夫・藤田 米春・高松 忍 (大阪府立大)

- 例題によるソフトウェアのプロトタイプ自動合成システム

中島 英樹・西田 豊明・堂下 修司 (京大)

- 知識工学的手法を応用した自然言語からの自動プログラム合成システム

藤井 邦和・上原 邦昭・豊田 順一 (阪大)

——昼食 (65分) ——

セッション 5 (13:00~14:45)

座長 春原 猛 (三菱)

- 懸念モデルに基づくソフトウェア要求定義技法

片岡 雅憲・原田 千秋 (日立)

- 仕様記述技法へのインフォーマルなアプローチ

岩田 成康 (SRA)

- システム計画支援ツール——ビジュアルインターフェースのプロトタイプینگ——

笠原 裕・宮内 裕・宮下 敏昭・市川 洋・野村 豊・大竹 康夫 (日電)

——休憩 (15分) ——

パネル討論 (15:00~17:00)

- 要求技術の目指すべき方向

司会 松本 吉弘 (東芝)

パネリスト 野木 兼六 (日立), 阿草 清滋 (京大), 森沢 好臣 (日本ユニパック)

本会協賛等の行事案内*

通訳電話の展望と問題点に関する国際シンポジウム

1986年4月12日 (土)

読売ホール

Computer Graphics Osaka 86

昭和61年6月4日 (水)~7日 (土) 大阪マーチャндаイズ・マート

Int'l. Pre-VLDB Symposium of 1986

August 21-22, 1986

Beijing, China

86 人工知能総合展

昭和61年9月17日 (水)~20日 (土)

インテックス大阪

* 詳細は本号会議案内・雑報欄参照

昭和 年 月 日

研究会発表申込書

太線枠内のみご記入下さい.

研究会名	研究会		
発表希望の 研究会開催日	昭和 年 月 日 ()		
タイトル			
発表者名			
概要 (50 字以内)			
原稿用紙送付先住所	〒	Tel.	— (内線)
氏名			

昭和 年 月 日受付

研究会名	資料 No.	開催日	幹事送付済み	その他
		昭和 年 月 日		